



管理保健	校内外の美化・清掃用具の整備 (管理)	○校内清掃の実態を把握し、改善を図る。 1年を通じ清掃目標を設定し、清掃指導の徹底と奉仕意識の向上を図る。 ・「机・椅子のよごれ落とし及び脚先のごみ取り、安全点検」とする。 ・「窓および窓枠の清掃、安全点検」とする。 ・「壁の汚れ落とし、床の汚れ落とし、安全点検」とする。以上の流れをふまえ、今後の改善を図る。	A	A	A
		○屋外清掃の充実 屋外大清掃の計画立案と実施。	A		
		○清掃用具の点検と補充 清掃用具の定期的な点検と補充整備に努める。	A		
	エコ活動の啓発 (清掃整備)	○ごみの分別指導 ごみステーションにおける分別状況の確認及び指導を行い、分別の徹底を図る。	A	A	
		○ごみの分別に関する意識啓発 各クラス及び各担当区域において、徹底した分別及びゴミの軽減化指導の充実を図る。 そのために必要な資料等を適宜準備し提供する。	B		
健康の保持・増進 (保健衛生)	○健康の保持・増進(健康診断結果を利用し、疾病治療と規則正しい生活習慣を身につけさせる。生活改善カードを利用し、個別指導を充実させる。) 精密検査受診を勧め、早期発見・早期治療に努める。	A	A		
	○感染症の予防 ①感染者の早期発見・早期対応により、感染症の感染拡大を防止する。 ②手洗い・うがい・マスク着用などの予防行動が、自主的に行える。 ③免疫力・抵抗力の向上(食事・睡眠・ストレスケアの実施) ④緊急時(新型コロナウイルス)の医療用品の整備、備蓄	A			
事故の防止と緊急時の救急体制の整備 (保健衛生)	○救急講習会年一回開催 ・職員は3年間の間に1回はAED講習会を受講してもらうようにする。運動部の未受講者をなくす。 ・運動部員、職員に熱中症予防教育の実施。アレルギー生徒の把握と、アレルギー研修会実施。	B			
図書館	図書館利用の促進	○図書館を利用しやすいように整備する。	A	A	
		○図書館の資料の充実 授業に対応した適切な資料提供 ○図書館を利用した授業の支援の充実	A A A		
	図書館広報活動の充実	○図書館報の発行	A		
	視聴覚設備・素材の有効利用	○視聴覚教室の有効利用の促進 ○視聴覚教材の効果的な利用促進	A A		
1 学年	①基本的な生活習慣の確立を図る。	○朝学習およびSHRに遅刻をせず、気持ちの良い一日の始まりを迎えさせる。5分前行動を心掛ける。	A	A	
		○登下校時及び授業の開始終了の挨拶および廊下で挨拶をさせる。	A		
		○高校生らしい正しい制服の着用(頭髪等も含む)をさせる。パジャ・ネクタイの着用を励行させる。	A		
	②学習習慣の定着と時間の確保及び学力の向上を図る。	○教室の私物の整理整頓をするとともに、ごみの分別を正しく行わせる。	A		
		○朝学習に主体的に取り組み、学習内容の定着、確認を図る。 ○授業では私語・居眠りをせず、積極的に授業に参加する。	B C		
③家庭と学校との連絡・連携を密に図り、生徒理解に努める。	○家庭で学習時間を確保し、提出課題にきちんと取り組む。	B	B		
	○学年だよりを発行し、情報の提供を図る。 ○保護者面談を年2回以上実施する。 ○個別面談を年2回以上実施する。	A A A	A A		
2 学年	①基本的な生活習慣の確立と社会性の育成を図る。	○SHRに遅刻をせず、気持ちの良い一日の始まりを迎えさせる。	B	A	
		○登下校時及び授業の開始終了の挨拶はもちろん、廊下等で気持ちのよい挨拶をさせる。	A		
		○新商生らしい、正しい制服の着用(頭髪等も含め身だしなみ)をさせる。 ○教室及びロッカーの私物の整理整頓とゴミの分別を正しく行わせる。	A B		
	②学習時間の確保と学力の向上を図る。	○朝学習を実施し、学習習慣を身につけ、学習内容の確認をさせる。 ○授業では私語・居眠りをせず、積極的に授業に参加させる。	A A		A A
		○家庭での提出課題にきちんと取り組ませる。	A		
③早期の進路意識の啓発と対策を図る。	○インターンシップを実施し、職業意識の啓発と職業観を育成する。 ○LHRなどで、「進路の手引き」を利用し、進路選択に役立てる。 ○模擬試験や資格検定試験等には積極的にチャレンジさせる。	B B B	B B		
	○学校・生徒会行事に積極的に参加させ、人間関係の育成に努める。	A	A		
	○部活動等を通じて、精神的・肉体的な成長を図る。	A	A		
⑤家庭との連絡・連携を密にし、生徒理解を図る。	○個別面談を年2回以上実施する。 ○保護者面談を年2回以上実施する。 ○学年だよりを発行(年10回以上)し、情報の提供を図る。	A B A	A A		
	○SHRに遅刻せずに、一日の始まりを気持ちよく迎えさせる。	B			
3 学年	①新商生の自覚を持ち、最高学年として他学年の模範となるような行動をとれる高校生活を送らせる。	○登下校時・授業の開始終了の挨拶はもちろん、廊下で挨拶をさせる。	A	A	
		○高校生らしい正しい制服の着用(頭髪等も含む)をさせる。 ○教室の私物の整理整頓をするとともに、ゴミの分別を正しく行わせる。	A A		
		○朝学習を実施し、学習内容の確認をする。また進路に向けた内容も組み入れ、小論文や一般常識の対策をする。	A		
	②学習の機会と時間の確保及び学力の向上を図る。	○授業では私語・居眠りをせず集中し、積極的に授業に参加させる。 ○家庭では提出課題にきちんと取り組む。	B B		B
		○LHRなどで「進路の手引き」を利用し、進路決定に役立てる。 ○社会人としての準備のため、礼儀・言葉遣いを正しく行う。	A A		A
③進路指導部と連携し、生徒の進路実現を図る。	○進路決定率は、年度内に100%の達成を目指す。 ○進路実現に検定が必要となることを再認識させ、検定取得の意欲を持たせる。	B A	A		
	○学年だよりを年8回以上発行し、情報の提供を図る。 ○保護者面談を年2回以上実施する。 ○個別面談を年2回以上実施する。	A A A	A A		
商業関連 学科	授業参観をするなどして授業改善を行い、生徒がビジネスに興味・関心を示すよう教材研究を行う。	他の教員の授業参観を行い、授業の工夫・改善に取り組む。 生徒の実態に合わせ、小テストや補習を実施する。 新教育課程を想定した教材研究を行い、指導方法を考察する。	A A A	A	
		他教科・部活動との連携を図り、家庭学習の習慣化を図る。	○家庭学習時間の短い生徒に対し、学習法の紹介など個別指導を行う。 個人添削課題や週末課題を出し学習習慣の定着を図る。		B A
	キャリア教育を意識した授業を実践する。	現在の経済状況や雇用形態の変化をふまえ、職業意識・勤労観・ライフプランなどを考えさせる。 社会人基礎力を意識し、ビジネスの場面を想定した指導を行う。	B A		A A
		グループ調査、討論やディベートを行い生徒自らが考察し、思考力、判断力を養うとともに、プレゼンテーション実習などにより情報提案能力を養う。	B		
	コンテストや競技大会に積極的に参加・応募する。また将来、産業経済界や国際社会で活躍できるスペシャリストや地域の担い手を育成する。	全商主催の実務競技大会、コンテストをはじめ様々な大会・コンテストに挑戦する。 デュアルシステム、インターンシップ、販売実習などに積極的に参加させ、地域との交流を深める。 基礎・基本の資格取得を通じ、高度資格取得に挑戦する意欲の高い生徒の育成を行い、学科目標を達成できるよう取り組む。	A A A		A A
国際教養 科	①進学希望の達成	○海外語学研修、ALTの活用などを通して異文化に対する興味・関心を高めさせる。 ○大学入試センター試験と2次試験に対応できる指導を工夫する。	A B	A	
		○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。	A		
	②英語運用力の養成	○2、3年生で、英検2級の取得者数を増やす。	A		
③国際理解教育の充実	○海外語学研修、ALTの活用などを通して異文化に対する興味・関心を高めさせる。	A			
	○有意義な海外語学研修実施のために、研修内容を充実させる。	A			

国語	学力の向上	①漢字や古典文法などの基礎学力の定着を図るために、朝学習の利用や小テストの実施などを通して、反復学習を行う。 ②大学入試に対応できる学力を身に付けさせるために、定期的に家庭学習の課題を課したり、長期休業中に進学補習を開講したりして、問題演習の機会を多く持つ。	A	A	A
	授業内容の充実	①生徒の授業への興味・関心を深めるため、授業内容と現実社会との接点を意識した授業を心掛ける。そのために、授業内容や進度に関する担当者間の打ち合わせを密に行う。 ②言語感覚を磨き、社会の諸事象に深く関心を持たせるため、精選した読書を推奨し、感想文やレポートにまとめて発表する機会を持つ。	B		
地歴公民	基礎学力の向上	生徒の興味・関心を深めるために、資料集・写真集・プリントなどの補助教材を活用する。 基礎学力の定着をはかるために、朝学習や小テストの実施、ノート点検、意見や感想をまとめたりする。	A	A	A
	進路実現に向けた実践力の向上	平日や長期休業中の進学補習を実施する。	A		
数学	学力の向上	計算力・基本公式の定着を図るため、各学年が企画する朝学習に協力し、年間で1、2年生は25回以上実施する。 国際教養科1、2年生について、模擬試験の平均偏差値が前年度の同学年・同回を上回ることを目安に、模試の過去問題にも取り組む。	A	B	A
	授業内容の充実	授業進度・指導内容等について綿密に打ち合わせを行う。教員同士で授業見学を行い、指導力の向上を図る。	A		
理科	科学的興味の醸成	科学に関する様々なトピックスの紹介や、資料・教材を作成し、生徒たちの科学的興味の醸成を促す。	A	B	B
	生物の維持管理	観察・実験で使用したり、生徒が日頃から生物に接することができるように管理している各種の生物を維持し繁殖につとめる。	B		
	各種実験の実施	各単元で学習した知識や様々な自然現象をより深く理解し実感させるために各種の観察・実験を行う。	B		
保健体育	授業内容の充実	○運動技能を高め、運動の楽しさ喜びを学ばせる。 ○スポーツテスト結果を分析し、体力向上に役立てる。	A	A	A
	(体育)	○公正、協力、責任などの態度を育てる。 ○安全面の配慮及び健康自己管理能力を養う。 ○基本的生活習慣の確立を図る。	A		
	(保健)	○授業や保健ノート、課題を通し学習理解を深める。	A		
芸術	部活動の充実	○運動部活動の加入促進と競技力向上を図る。	A	B	B
	鑑賞、表現の両面から芸術活動に取り組み、個性豊かな人間を育成するとともに生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。	将来、鑑賞者として芸術にふれあう喜びを体験できるよう鑑賞力の向上を図りたい。そのため、授業の中で鑑賞の時間を十分確保する。 生徒が表現者としての苦勞と喜び、達成感を体験できるよう、細やかな声掛けとアドバイスを行う。	B		
英語	進路希望達成に必要な学力を養成する。	わかりやすい授業を実践する。 綿密な年間指導計画を作成し、それに沿った授業を行う。 商業関連学科：基礎学力をつけるため、全ての科目で小テストを計画通り実施する。 国際教養科3年：センター試験に必要な学力をつけさせる。 国際教養科2年：進研模試の成績を伸ばす。 国際教養科1年：進研模試の成績を伸ばす。	A	B	B
	英語の運用能力を養成する。	1年生：英検準2級の取得者を増やす。	A		
		2、3年生：英検2級の取得者を増やす。	A		
		スピーチコンテストでの参加者数を増やす。	A		
		国際教養科でALTとのティーム・ティーチングを多く実施する。	A		
家庭科	基礎的・基本的な知識・技術の習得を目指す。	生徒が興味関心をもてるような実験・実習・課題の授業内容を目指し、生徒によるアンケートを行う。 基礎学力の定着を図る。	A	A	A
	指導内容の充実	各自の課題をどのように解決していくのが望ましいか、習得したことを生かして考える力をつけさせることを目指す。	C		
		授業進度・指導内容等を綿密に打ち合わせ、年間計画に準じた適切な授業展開を行い、指導内容の充実を図る。	A		
成果と反省	学校運営方針に基づき、各分掌・各学年・各科・各教科で組織的・計画的に取組を進め、自己評価も総じて良い結果を得ることができた。次年度も、さらに地域から信頼される学校づくりを進めるために、各分掌・学年等がより連携を深め、生徒の希望する進路の実現に向けて具体的な方策と評価方法・評価基準値を検討した上で、取り組んでいくこととした。	最終総合評価		A	